

「生きる」ということ

「時」に抱きすくめられ

その時間と空間を生存在し得る絶対と信じて自分
分を造るが

止まらぬ時間はまた自分を裏切つてゆく

美も正義もその限りの光を放ち

新たな影を限りなく横たえる

喜びを求めて生きるが

悲しみに抱きすくめられ

生きることの真偽は重い重い読書のページを重ねる

「死」の反対語は「生きる」ではなく「命」

「生きる」は点ではなく多方向へのベクトル

ある写真家が広島犠牲者が残した衣服を撮り
続ける

着ていた女性よりも長く生き続けている何万点も
の襤褸

醜く光り輝く碎けかけた衣服

背後から射す光で若い女性が蘇ってくる

生きることの苦しみから逃れようと

人の死を呼び寄せること程悲しい生き方はない

そのくらいなら

自分で「時」を抱きしめながら

独りだけで「命」のピリオドまで

歩いて歩いて歩いて行く

(2008.7.29)